



巨大なケーソンがまもなく完成

下田港で最大級の防波堤ケーソン（コンクリートの箱）を製作中

1. 概要：

中部地方整備局では、河川や道路、港湾の整備における33の現場を「旬な現場」として見学を受け付けています。（※詳しくはHP参照）

中部地方整備局で最大級となるコンクリートを使用したケーソンの製作工事がまもなく完成を迎えますのでお知らせします。

※ HP アドレスhttp://www.cbr.mlit.go.jp/local_info/sougou/contents/shisetsu/construction/index.htm

2. ケーソンの概要

下田港では、荒天時における船舶避難場所の確保のために防波堤の整備を国直轄事業で行っています。

下田港で現在製作中の防波堤は「上部斜面スリット式」という珍しい形状で、ケーソンの高さは25mのハイブリッド構造（鋼材とコンクリートの合成構造）です。また、重量が大きく吊り上げることが難しいため、フローティングドック（FD）と呼ばれる特殊な船の上でケーソンを製作しています。

3. 今後の予定

今後、ケーソン進水時に見学会を開催する予定ですが、これ以外でも随時見学の申し込みを受け付けています。なお、工事の進捗計画は以下のとおりです。

5月中旬～下旬：最終のコンクリート打設

6月中旬～下旬：ケーソン進水（FDからケーソンを海中に移します。）

4. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ、
静岡県政記者クラブ、港湾
空港タイムス、港湾新聞、
日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先：

国土交通省 中部地方整備局

清水港湾事務所 企画調整課長 野村のむら

電話054-352-4148



現在製作中のケーソン（4/10撮影）